

令和7年度 部活動結果報告

ソフトボール部

丹羽高校ソフトボール部です。丹羽高校公式Instagramではたびたび活動報告を写真とともに載せていましたが、今年もこのタイミングで総括をしたいと思います。

◆ 県大会を目指して三年生の最後の大会が開幕！

第79回愛知県高等学校総合体育大会ソフトボール競技尾張支部予選会

予選リーグ	△	7-7	五条（延長8回時間引き分け）
	○	22-1	木曾川（3回コールド）
	○	3-0	古知野

三年生最後の大会となる総合体育大会。初戦は第一シード（前回県大会出場チーム）である五条戦。前半は押されるものの後半追いつき、そこからは取って取られての熱戦に。2時間という時間制限いっぱい8回まで戦い、決着つかずの引き分けで試合終了。第一シード相手に粘りを見せた。2戦目は木曾川戦。序盤から相手のミスもありながら点数を重ねて3回コールドで初日を終えた。

2日目は負けたら敗退の状況での古知野戦。お互いのピッチャーが粘りの投球を見せ一進一退の攻防に。丹羽のピッチャーが最後までホームを踏ませずに完封勝利で最終戦を飾った。五条高校と2勝1分けで並び、得失点コールドなどの条件から2位で決勝トーナメントへ進むことが決定した。

決勝トーナメント	×	0-15	江南・一宮北・新川合同チーム（3回コールド）
	○	11-4	犬山（5回コールド）
	×	5-6	一宮興道

決勝トーナメント初戦は前回完封した投手が大乱調で初回到13失点。そのまま3回コールド負けで5位決定トーナメントへ回ることに。迎えた犬山戦では投手が復調。3年生の打撃が好調なこともあり、先制点を奪いながら有利な展開に。最後はキャプテンの犠牲フライで5回サヨナラコールドを決めた。最後の一宮興道戦では序盤から有利に進めつつも最後の最後で集中力を欠き、エラーから逆転を許した。最終6位でトーナメントを終えたが、開催地区枠で6チームが県大会に出場できるためギリギリでの県大会出場となった。

県大会1回戦	×	0-10	栄徳（4回コールド）
--------	---	------	------------

県大会は栄徳高校との対戦となったが、序盤から栄徳攻撃陣のスピードに圧倒される展開になった。何とか粘ろうとするも点が取れず4回コールドで力尽きた。

1年間勝利をつかむことができなかったチームが、最後粘りを見せ県大会の出場を果たした。



◆ 新チーム始動も悔しい結果が続く

新チーム

令和7年度春季尾張ソフトボール大会

1回戦 ○ 13-0 五条 4回コールド

2回戦 × 0-7 一宮興道

愛知県高等学校女子ソフトボール選手権大会

1回戦 × 5-15 豊丘

第64回オール尾張高等学校女子ソフトボール選手権大会

1回戦 × 7-8 誉

新チーム初戦は快勝したもののそこからはディフェンス面に課題を残す結果になった。特にオール尾張大会では酷暑の中で時間制限もあり体力的にはギリギリの中で奮闘したが一歩及ばず敗退。新人戦までに課題を残す結果となった。

◆ 新人戦尾張2位の大躍進！！

愛知県高等学校新人体育大会ソフトボール競技

予選リーグ × 2-6 一宮興道

○ 20-0 一宮

	○	8-0	津島
決勝トーナメント			
	○	14-4	五条
準決勝	○	7-4	尾北
決勝	×	2-4	修文学院
県大会			
1回戦	×	3-11	東海樟風

総体でも敗れた一宮興道に敗れるものの他2試合には完封勝利。2位で決勝トーナメントにコマを進めることに。県大会決定戦となった五条戦では初回に先制されるものの、のちに突き放しコールドで準決勝へ進む。相手は尾北高校序盤から失点するもこちらが食い下がる展開に。最後は6回に逆転・7回にダメ押しし逆転勝ちで決勝へ。決勝の相手は修文学院。序盤に2点を先制するも4回に一気に逆転を許す。その後何とか追いつこうとあがくもののやはり王者の壁は厚く2点ビハインドのままゲームセット。準優勝で尾張支部予選を終えた。

県大会1回戦では東海樟風との試合。今まで経験できなかった細かな戦術に翻弄される展開に。こちらの守備のミスも重なり失点を重ねてしまいコールド負け。悔しい結果となった。

令和7年度秋季尾張ソフトボール大会

1回戦	○	13-0	五条
準決勝	×	0-7	一宮興道

最後は尾張支部の地方大会。準決勝でまたも一宮興道に敗れる展開に。この敗戦を胸に、冬場のトレーニングを乗り越え、ぜひ春にはリベンジを果たしたい。